

報道関係者各位

平成 24 年 6 月 27 日

アバゴ・テクノロジー、クラウド・コンピューティングおよびデータセンタ向けに 120Gbps 光ファイバ・モジュールを発表

MiniPOD パラレル・マルチチャネル・ソリューションと CXP ソリューションで帯域幅密度の問題を解消

アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)は、本日、120Gbps(ギガビット/秒)のデータ転送速度を実現したマルチチャネル光トランスミッタ/レシーバ・モジュールと CXP プラガブル・トランシーバ・モジュールの量産を開始したことを発表しました。マルチチャネル光トランスミッタ/レシーバ・モジュールは、当社 MiniPOD™ ブランドの製品(以下、MiniPOD モジュール)であり、データセンタにおけるボックス(筐体)内通信向けのものであります。一方、CXP プラガブル・トランシーバ・モジュール(以下、CXP モジュール)はボード・エッジ・タイプであり、ボックス間やラック間の通信に適しています。

クラウド・コンピューティングをはじめとするネットワーク・アプリケーションの需要急増を受けて、データセンタ、サーバ・ファーム、通信交換センターなどでは、より高速なデータ通信を実現することが必要になっています。MiniPOD モジュールと CXP モジュールは、そうしたアプリケーションに最適なソリューションです。具体的な用途としては、データ集約、バックプレーン通信、独自プロトコルによるデータ伝送といった広帯域/高密度の通信アプリケーションが挙げられます。

アバゴ・テクノロジー光ファイバ製品事業部のシャロン・ホールプロダクトライン・マネージャは「当社は、業界最高の光ポート密度を実現することにより、価格比で最大の帯域幅と、最少の消費電力を達成しました。当社のソリューション、及びフォーム・ファクターを使用すれば、高密度の光相互接続に対するあらゆるニーズを満たすことができます。」と述べています。

MiniPOD モジュールは、送信部と受信部が独立したスタンドアロン型のモジュールです。トランスミッタ・モジュールの「AFBR-81uVxyZ」とレシーバ・モジュールの「AFBR-82uVxyZ」をペアで使用すれば、64B/66B エンコーディングのデータ速度 10.3125Gbps の一方向12チャンネルのリンクを構築できます。この時、モジュールの総帯域幅は120Gbpsとなります。

一方、CXP モジュールの「AFBR-83PDZ」はトランスミッタとレシーバを一体化したエッジ・マウント型の統合ソリューションです。MiniPOD モジュールと同じく 120Gbps の総帯域幅を実現する12の送信チャンネルと 12 の受信チャンネルを搭載しています。

MiniPOD モジュールを使用すれば、フロントパネル実装密度を標準的な SFP+ソリューションの 36 倍にできます。これは、業界最高の値です。プラガブル・ソリューションが必要な場合には、CXP モジュールを使用すれば SFP+を利用した標準的な手法と比べ、10Gbps レーン当たりのコストを半分に抑えることができます。しかも、MiniPOD モジュールと CXP モジュールは、いずれも 10Gbps レーン当たりの消費電力を SFP+モジュールの 25%に抑えています。さらに、これらのモジュールは、ジッタ特性、シグナル・インテグリティ(信号品質)や EMI(電磁干渉)に優れています。

MiniPOD モジュールと CXP モジュールは、OM3 グレードの光ファイバを用いた場合で最長 100m、OM4 グレードの光ファイバを用いた場合で最長 150m のデータ転送を実現します。両モジュールは、100 ギガビット・イーサネット(100 GbE)の規格(IEEE 802.2ba 100GBASE-SR10 および nPPI)と QDR Infiniband 規格に準拠しています。また、トランスミッタにはアバゴの 850nm 帯 VCSEL(Vertical Cavity Surface Emitting Laser)アレイ、レシーバにはアバゴの PIN ダイオード・アレイを

PRESS RELEASE

〒153-0042 東京都目黒区青葉台 4-7-7
青葉台ヒルズF
www.avagotech.co.jp

採用しています。

アバゴの光ファイバ製品の詳細については、当社のウェブサイト(www.avagotech.com/fiber)をご覧ください。

関連資料

CXP の仕様は、IBTA (InfiniBand Trade Association) のウェブサイトからダウンロードすることができます (http://members.infinibandta.org/kwspub/specs/register/publicspec/CXP_Spec.Release.pdf)

製品画像



MiniPOD シリーズ

AFBR-83PDZ

アバゴ・テクノロジー社

日本法人: アバゴ・テクノロジー株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:米山周)

アバゴ・テクノロジーは、通信、産業、民生向けアナログ・インターフェース機器のグローバルリーディング・サプライヤです。当社の主力製品は、アナログ、ミクスドシグナル、オプトエレクトロニクスの部品やサブシステムなど多岐にわたっています。ターゲット市場は、インダストリアル / 自動車、情報通信 / エンタープライズ・ネットワーク、携帯電話 / ワイヤレス・コミュニケーションの 3 つの市場にわたり、革新的、高機能そして高品質製品を提供しています。また、世界中に技術サポートおよびカスタマーサービス拠点を有し、お客様をサポートしています。アバゴ・テクノロジー技術革新の伝統は、50 年前のヒューレット・パッカードに遡り、そしてアジレントの時代から受け継がれてきたものです。詳しくは当社のウェブサイト www.avagotech.co.jp をご覧ください。

#

Avago, Avago Technologies, A のロゴ、および MiniPOD は、米アバゴ・テクノロジー社、またはその子会社もしくは関連会社の商標です。

本件に関するお問い合わせ先:

アバゴ・テクノロジー株式会社
マーケティング・コミュニケーションズ
カルデラ久美子
TEL: 03-6407-2704
kumiko.caldeira@avagotech.com